

「おとずれ山の会」だより

森づくりを楽しみながら、自然との共生と環境保全を考える

山から元気もらっています

平成 18 年 12 月、里山の会「おとずれ山の会」が発足しました。主な活動フィールドは高滝ダムの近く、木更津・真里谷(まりやつ)「音信山(おとずれやま)」の一角です。スタート時のメンバーは女性 6 名を含む 15 名、主として下草刈払い・除伐を軸に、月に数回の活動を行い山から

元気もらっています。

作業の合間に一服(平成 19 年 10 月)



山頂のシンボルツリー

(タブの木)



雪の中の下刈り(平成 20 年 1 月)



安全第一、まずは山の掃除から

篠竹や灌木が密生する藪を切り開いて、見通しを良くする“山の掃除”と併行して、植生の観察や道づくり、ベンチづくりや椎茸の植菌などを進めてきました。3 年目の今年は、ゼロ災の継続を第一に、近隣山林や里山グループとの連携、廃棄物の処理などを進めたいと考えています



シイタケの植菌(平成 20 年 2 月)

-----活動基本方針-----

＜基本理念＞里山の会「おとずれ山の会」は、森づくりを通じて、自然に親しみ自然を楽しむとともに、自然との共生や環境保全の推進に微力を尽くしたいと考えます。

1. 私達は、宇宙の神秘を畏れ、自然の前に謙虚でありたいと願っています。
2. 私達は、自然が人間にとって征服すべきものではなく共生すべきものであると考えています。
3. 私達は、この美しい自然環境を次代に申し送る役割に使命感を持ち、誇りに思うものです。

＜活動方針＞

1. 手づくりズム：山林の本来の姿を尊重し、自然に優しい活動を進めます。
2. ゆったりズム：急がずに、楽しみながら、100 年、200 年という長期的視点で取り組みます。
3. ひっそりズム：森との静かな対話を大切に、草花や鳥や小動物の豊かな森を目指します。

＜主な活動＞

1. 森林の調査、自然観察
2. 下草刈り、除間伐、枝打ちなどの整備
3. 植林、種苗の育成、大径木の保護
4. 山菜、茸等の植栽

なお、活動に際しては、君津農林振興センターはじめちば里山センターや緑化推進委員会等の関係機関から、懇切なご指導・ご支援をいただいているほか、多くの方々に支えられています。心から感謝するところです。

〒290-0255 千葉県市原市光風台 4-280

発行：おとずれ山の会 代表 高橋順子

編集：監事(世話役) 高橋和靖 Tel:0436(36)3773